

改正後

現 行

1. 土 工

1. 土 工

① バックホウ掘削（超ロングアーム仕様）

① バックホウ掘削（超ロングアーム仕様）

1.・2. [略]

1.・2. [略]

3. 機種の設定

各作業に使用する機種・規格は、次表とする。

3. 機種の設定

各作業に使用する機種・規格は、次表とする。

表 3. 1 機種の設定

表 3. 1 機種の設定

作業の種類	機 種	規 格	摘 要
軟弱土の掘削積込 仮置土の掘削	バックホウ ( <u>クローラ型</u> )	<u>超ロングアーム型</u> ・排出ガス対策型(第2次基準値) <u>バケット容量</u> 0.4m <sup>3</sup>	
運 搬	ダンプトラック	<u>通称</u> 10t 積級	必要に応じて計上する

作業の種類	機 種	規 格	摘 要
軟弱土の掘削積込 仮置土の掘削	バックホウ ( <u>超ロングアーム仕様</u> )	排出ガス対策型(第2次基準値) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 0.4m <sup>3</sup> ( <u>平積</u> 0.3m <sup>3</sup> )	
運 搬	ダンプトラック	10t 積級	必要に応じて計上する

4. 施工歩掛

4-1 掘削積込作業

バックホウ（超ロングアーム仕様）掘削積込作業の日当り施工歩掛は、次表とする。

4. 施工歩掛

4-1 掘削積込作業

バックホウ（超ロングアーム仕様）掘削積込作業の日当り施工歩掛は、次表とする。

表 4. 1 日施工量

表 4. 1 日施工量

作業の種類	機 械 名	規 格	日施工量 (m <sup>3</sup> )
軟弱土の掘削積込 仮置土の掘削	バックホウ ( <u>クローラ型</u> )	<u>超ロングアーム型</u> ・排出ガス対策型(第2次基準値) <u>バケット容量</u> 0.4m <sup>3</sup>	104

作業の種類	機 械 名	規 格	日施工量 (m <sup>3</sup> )
軟弱土の掘削積込 仮置土の掘削	バックホウ ( <u>超ロングアーム仕様</u> )	排出ガス対策型(第2次基準値) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 0.4m <sup>3</sup> ( <u>平積</u> 0.3m <sup>3</sup> )	104

4-2 [略]

4-2 [略]

5. 単価表

(1) バックホウ（超ロングアーム仕様）掘削積込 100m<sup>3</sup>当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
バックホウ ( <u>クローラ型</u> ) 運転	<u>超ロングアーム型</u> ・排出ガス対策型(第2次基準値) <u>バケット容量</u> 0.4m <sup>3</sup>	日	100/D	
計				

(注) [略]

5. 単価表

(1) バックホウ（超ロングアーム仕様）掘削積込 100m<sup>3</sup>当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
バックホウ (超ロングアーム仕様) 運転	排出ガス対策型(第2次基準値) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 0.4m <sup>3</sup> ( <u>平積</u> 0.3m <sup>3</sup> )	日	100/D	
計				

(注) [略]

(2) ダンプトラック運搬 100m<sup>3</sup>当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ダンプトラック 運転	<u>通称</u> 10t 積級	日	D	
計				

(注) [略]

(2) ダンプトラック運搬 100m<sup>3</sup>当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ダンプトラック 運転	10t 積級	日	D	
計				

(注) [略]

(3) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
バックホウ ( <u>クローラ型</u> )	<u>超ロングアーム型</u> ・排出ガス対策型(第2次基準値) <u>バケット容量</u> 0.4m <sup>3</sup>	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→85 機械損料数量→1.48
ダンプトラック	<u>通称</u> 10t 積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→58 機械損料数量→1.25

(3) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
バックホウ (超ロングアーム仕様)	排出ガス対策型(第2次基準値) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 0.4m <sup>3</sup> ( <u>平積</u> 0.3m <sup>3</sup> )	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→85 機械損料数量→1.48
ダンプトラック	10t 積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→58 機械損料数量→1.25